

## 審査結果の要旨

報告番号	甲 第 1280 号	氏名	今井 孝樹
審査担当者	主査 山本 宏一 (印) 副主査 白濱 正博 (印) 副主査 平木 照之 (印)		
主論文題目 : Cutoff value of Japanese Orthopaedic Association shoulder score in patients with rotator cuff repair: Based on the University of California at Los Angeles shoulder score (腱板修復術後患者における日本整形外科学会肩関節疾患治療成績判定基準のカットオフ値 : University of California at Los Angeles スコアに基づいて)			

### 審査結果の要旨 (意見)

本研究は、肩腱板断裂術後の修復術患者における University of California at Los Angeles (UCLA) スコアと日本整形外科学会肩関節疾患治療成績判定基準(JOA スコア)の相関を自験例 175 例で検討したものである。

国際的に使用される UCLA スコアは、本邦で通常実施される JOA スコアによる評価とよく相関しており、UCLA スコアで成績良好とされる境界値 28 点が JOA スコアの 83 点に相当することを明らかにしたものである。

臨床に直結した有用な研究であり、今後の肩腱板断裂研究では多く引用されることが考えられる。また、本邦で作成される診療ガイドラインでは多くの国内論文も検証する必要があるが、このような際にも有用な研究成果となると考えられる。

### 論文要旨

University of California at Los Angeles (UCLA) スコアを使用し、腱板修復術後患者における日本整形外科学会肩関節疾患治療成績判定基準(JOA スコア)のカットオフ値を算出することを目的とした。

腱板修復術後患者 175 例を対象とした。UCLA および JOA スコアは、術前と術後 3、6、9、12 か月時に評価した。UCLA と JOA score の関連項目の関係性を調査し、JOA スコアカットオフ値の算出には、UCLA スコアの Excellent/Good と Fair/Poor の境界値である 28 点を基準とした。

両スコア間の合計点に強い相関を認めた ( $r=0.85$ 、 $p<0.0001$ )。Receiver operating characteristic (ROC) 曲線最高精度に基づいた JOA スコアのカットオフ値は 83 点であった (AUC 0.94, 感度 91.8%, 特異度 84.1%,  $p<0.0001$ )。

JOA スコアカットオフ値 83 点は、腱板修復術後の Excellent/Good と Fair/Poor の結果を区別する UCLA スコアカットオフ値 28 点に相当した。